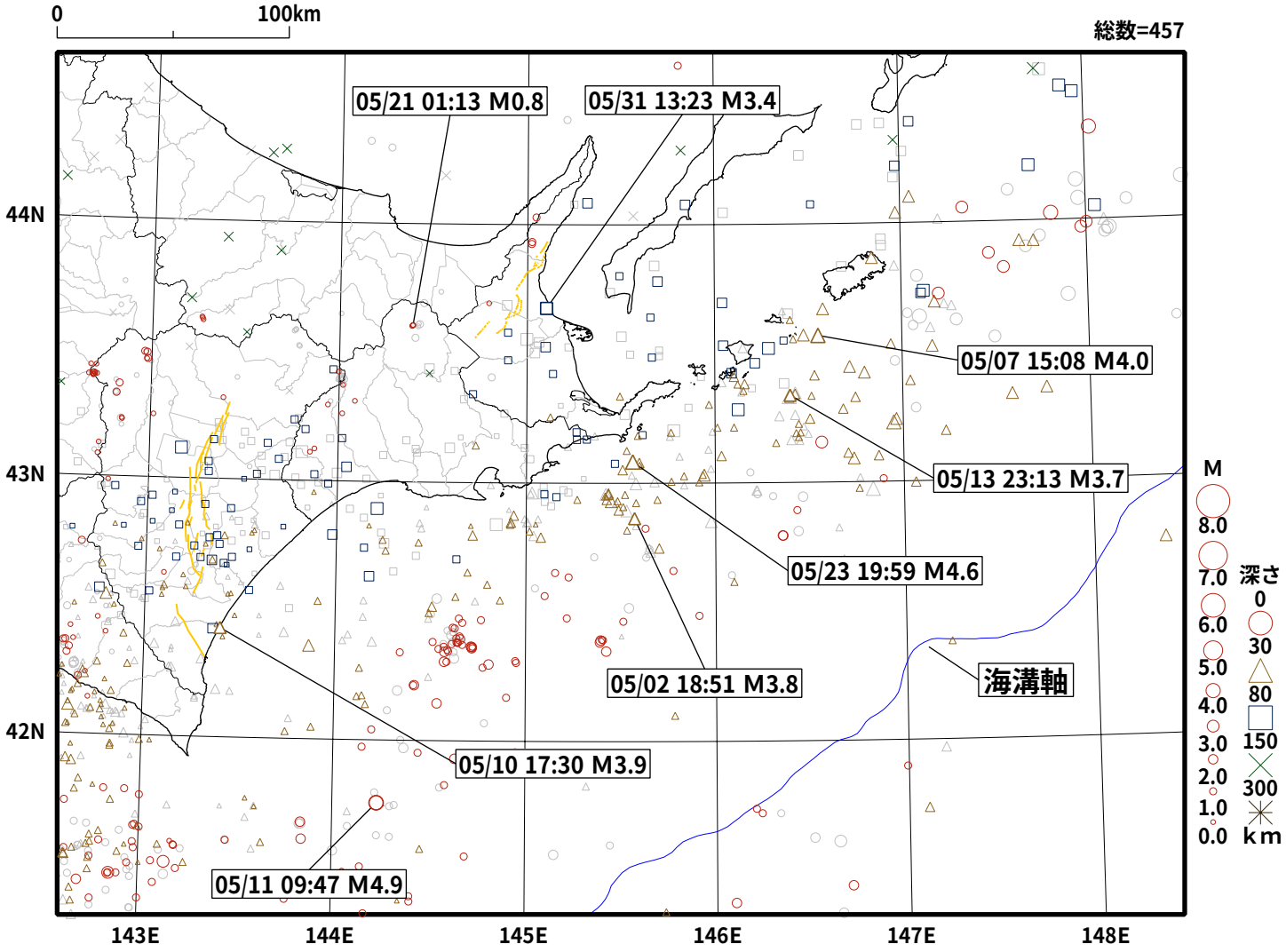
釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2024年5月1日～2024年5月31日

震央分布図　　釧路地方気象台



地震概況（2024年5月）

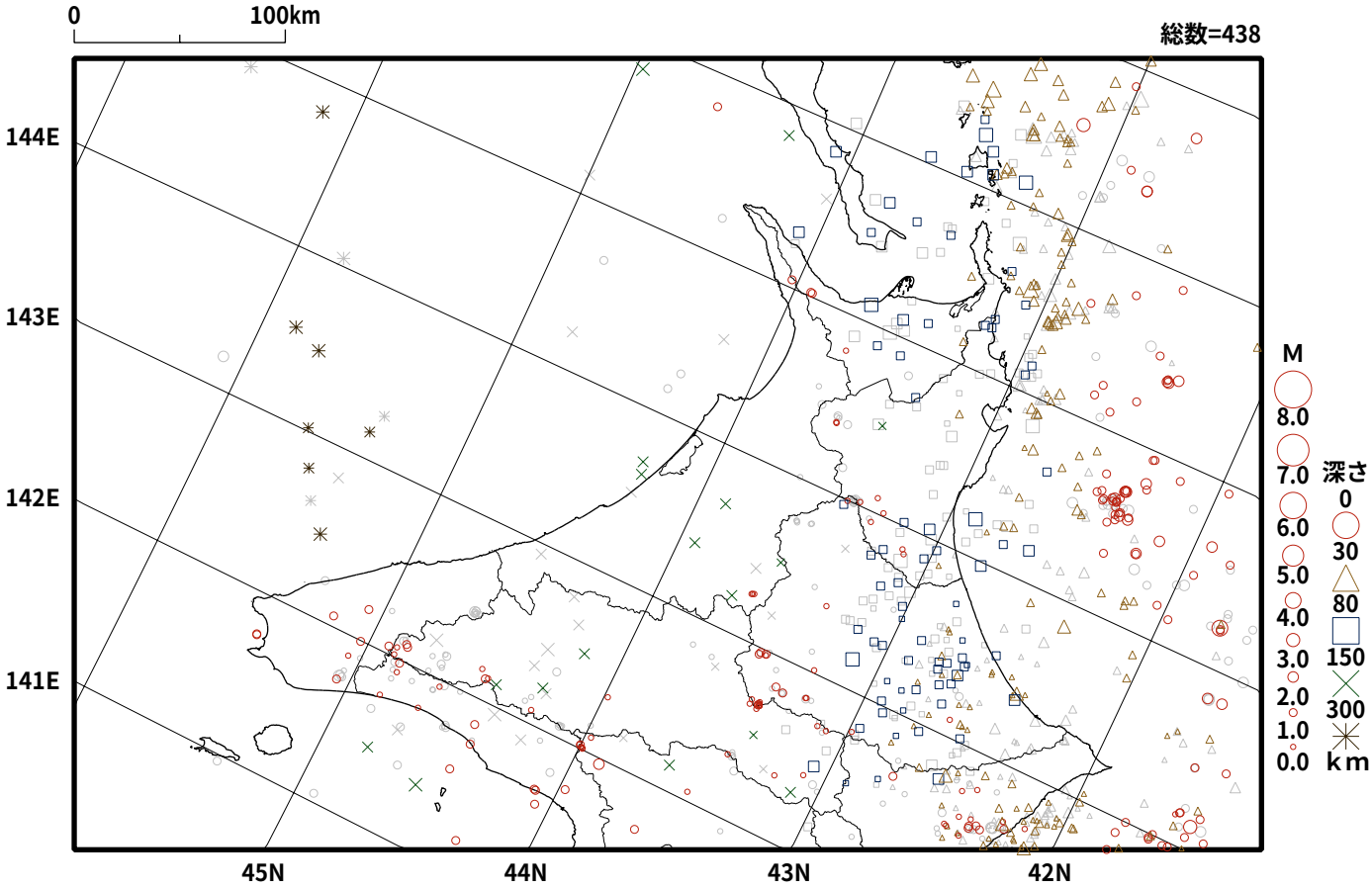
この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度１以上を観測した地震は８回(先月４月は16回)で主な地震は次のとおりです（詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度１以上を観測した地震の表」を参照）。

23日19時59分、根室半島南東沖を震源とする地震（M4.6、深さ48km）により、浜中町、根室市、別海町で震度３を観測したほか、標津町、中標津町、羅臼町で震度２、釧路市、厚岸町、標茶町で震度１を観測しました。

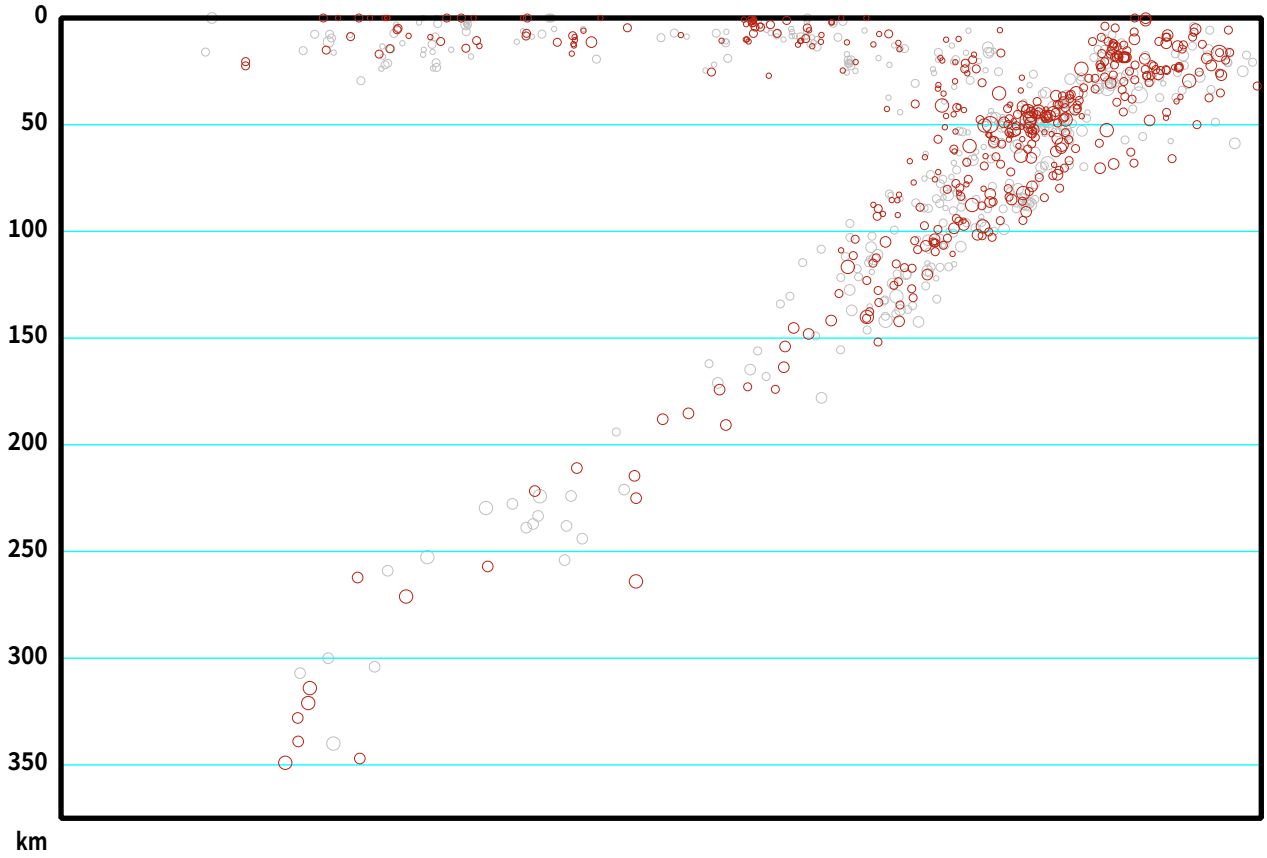
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html
この資料に関する問い合わせ先　釧路地方気象台　TEL　0154-31-5110

震央分布図

2024年5月1日～2024年5月31日



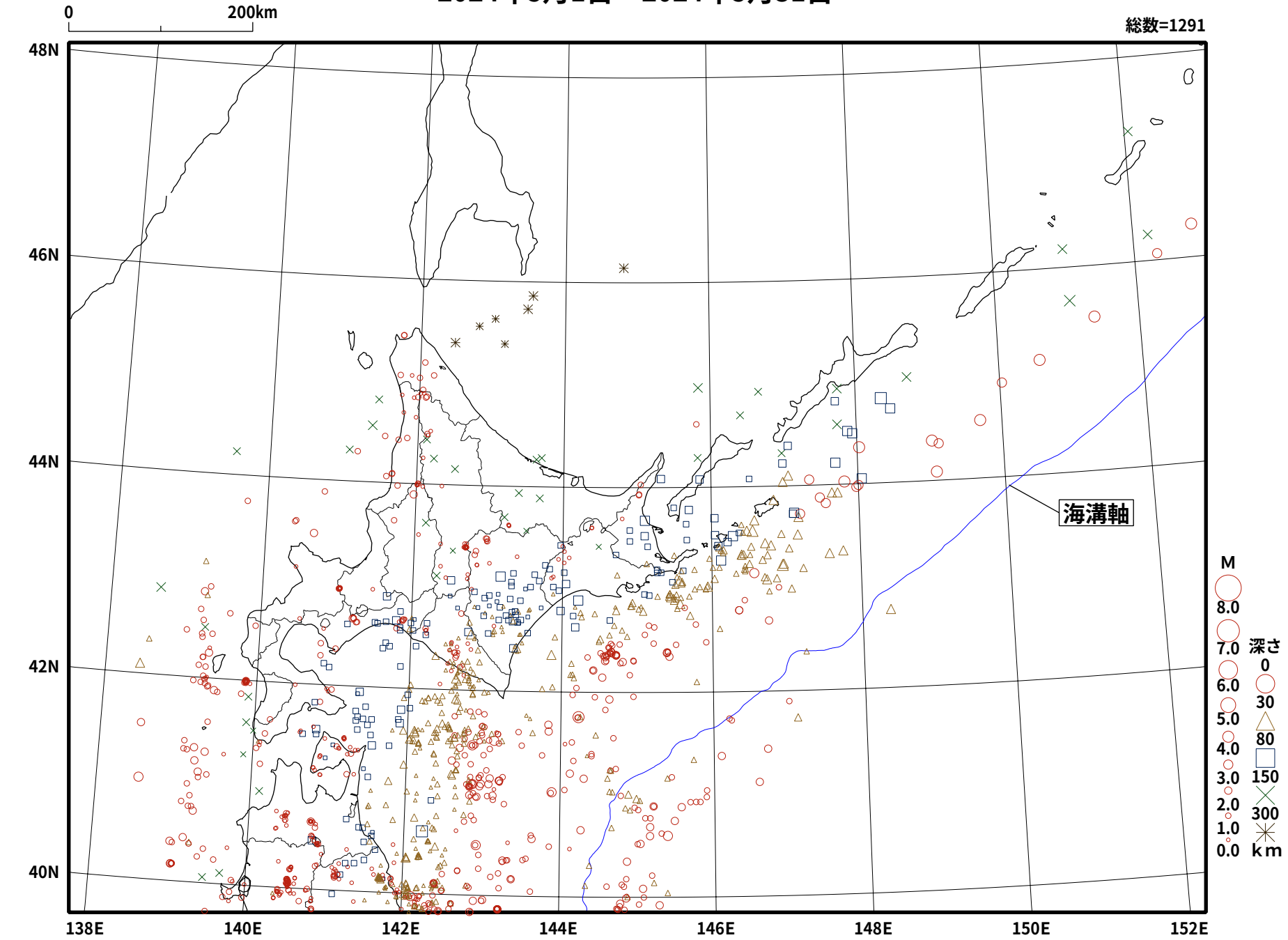
断面図



震央分布図

北海道の地震活動図

2024年5月1日～2024年5月31日



釧路・根室・十勝地方で震度１以上を観測した地震の表（2024年5月）

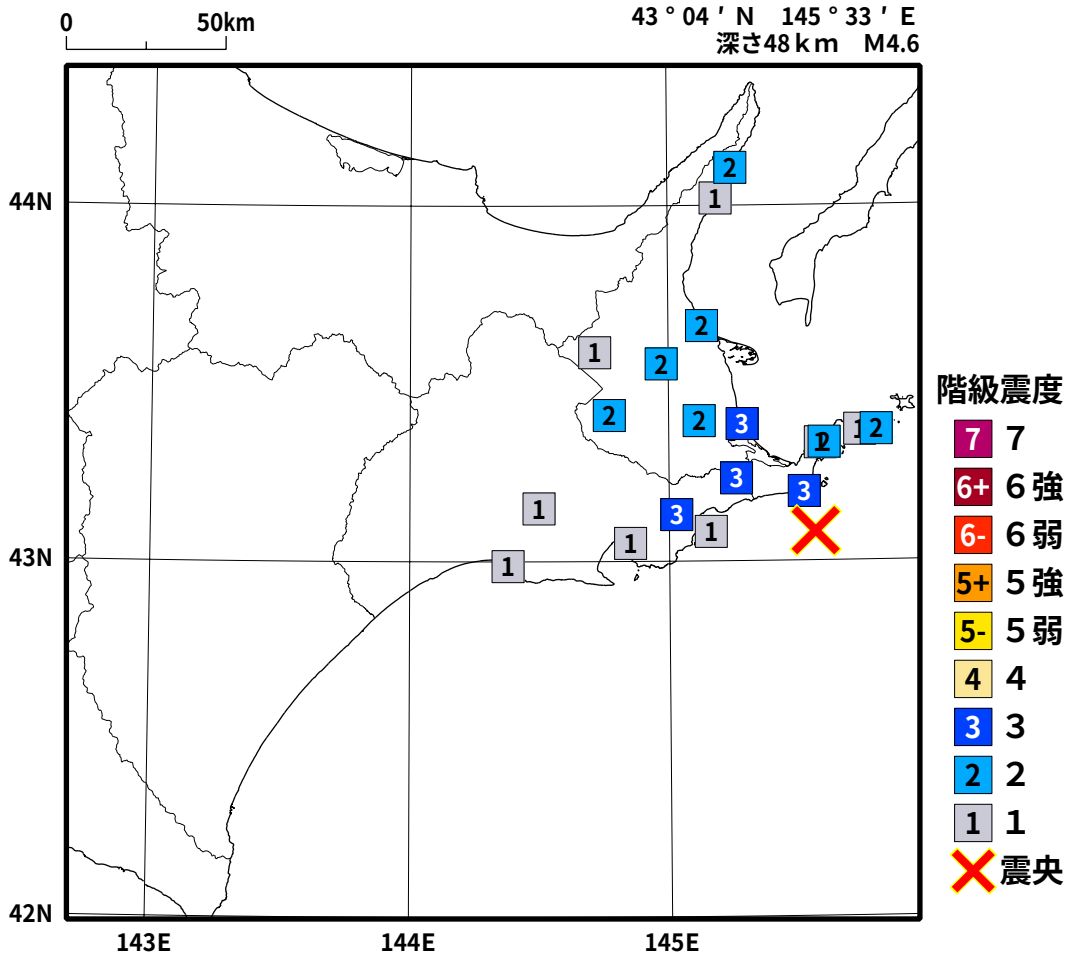
年　月　日 地方	時　分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯（N）	東経（E）	深さ（km）	規模（M）
2024年 5月 2日	18時51分	釧路沖	42°51.7′N	145°34.3′E	35km	M3.8
根室地方	震度１	根室市牧の内＊(10)　根室市琶瑤瑁＊(06)				
2024年 5月 7日	15時08分	北海道東方沖	43°34.0′N	146°33.1′E	50km	M4.0
根室地方	震度２	根室市琶瑤瑁＊(20)				
	震度１	別海町常盤(05)　別海町本別海＊(07)　根室市弥栄(06)　根室市牧の内＊(10)				
		根室市厚床＊(09)　根室市落石東＊(14)				
2024年 5月10日	17時30分	十勝地方南部	42°25.3′N	143°23.8′E	52km	M3.9
十勝地方	震度２	浦幌町桜町＊(18)				
	震度１	新得町２条＊(06)　幕別町忠類錦町＊(08)　十勝池田町西１条＊(10)				
		豊頃町茂岩本町＊(12)　本別町向陽町＊(07)　中札内村東２条＊(05)				
		十勝大樹町東本通＊(07)				
釧路地方	震度１	白糠町西１条＊(07)				
2024年 5月11日	09時47分	十勝沖	41°45.4′N	144°13.8′E	17km	M4.9
十勝地方	震度２	浦幌町桜町＊(18)				
	震度１	帯広市東４条(05)　幕別町忠類錦町＊(11)　幕別町本町＊(09)				
		十勝池田町西１条＊(11)　豊頃町茂岩本町＊(09)　十勝大樹町東本通＊(12)				
		広尾町並木通(08)　広尾町白樺通(06)				
釧路地方	震度２	釧路市音別町中園＊(19)				
	震度１	白糠町西１条＊(10)				
2024年 5月13日	23時13分	根室半島南東沖	43°20.2′N	146°24.0′E	47km	M3.7
根室地方	震度１	根室市琶瑤瑁＊(10)				
2024年 5月21日	01時13分	釧路地方北部	43°36.3′N	144°23.3′E	2km	M0.8
釧路地方	震度１	弟子屈町サワンチサップ＊(06)				
2024年 5月23日	19時59分	根室半島南東沖	43°04.9′N	145°33.7′E	48km	M4.6
釧路地方	震度３	浜中町茶内＊(25)				
	震度１	釧路市幸町(05)　厚岸町真栄＊(06)　浜中町湯沸(13)　標茶町塘路＊(12)				
根室地方	震度３	別海町本別海＊(25)　根室市厚床＊(33)　根室市落石東＊(30)				
	震度２	中標津町丸山＊(19)　標津町北２条＊(21)　羅臼町岬町＊(17)　別海町常盤(23)				
		別海町西春別＊(15)　根室市牧の内＊(20)　根室市琶瑤瑁＊(22)				
	震度１	中標津町養老牛(10)　羅臼町緑町＊(06)　根室市弥栄(13)　根室市豊里(10)				
2024年 5月31日	13時23分	根室地方北部	43°40.5′N	145°06.1′E	140km	M3.4
根室地方	震度１	根室市厚床＊(07)				

＊のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
(　)内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	５弱	５強	６弱	６強	7

2024年 5月23日19時59分　根室半島南東沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前３ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】
～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約３分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」）を津波予報区単位（図１）で発表します。

図１　北海道の津波予報区

津波警報等では、予想される津波の高さを通常５段階の数値で発表します（表１）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が８を超えるような巨大地震では、精度の良い地震の規模をすぐに求めることが出来ず、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報等を発表します。その場合、最初に発表する津波警報等では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

表１　津波警報等の種類ととるべき行動（気象庁リーフレット「津波防災」より）

	予想される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m 超 10m＜予想される津波の最大波の高さ	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m 5m＜予想される津波の≦10m最大波の高さ		
	5m 3m＜予想される津波の≦5m最大波の高さ		
津波警報	3m 1m＜予想される≦3m津波の最大波の高さ	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	1m 20cm≦予想される津波の≦1m最大波の高さ	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

○避難のポイント

・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来に間に合わないことがあります。沿岸で強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始してください。

・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしてください。

・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。

・津波は長い時間くり返し襲ってくるうえに、一度来た津波より後から来る津波の方が高くなることもあります。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けてください。